

株式会社 内田化工



本社事務所

- 本社所在地：茨城県小美玉市堅倉 1579-4
- 事業概要：ポリエチレンフィルム・発泡製品の製造販売、各種ロール紙の製造販売
- 常時使用する従業員：114名
(2026年1月時点)
- 現在の売上高：28億円
(2025年5月期)
- 法人番号：1050001011296
- Web：https://www.uchidaa.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
内田 尚武

ものづくりを通して社会に貢献し、社員全員の物心両面が豊かになることを目指し行動する

プラスチックもロール紙も近年弊社を取り巻く環境変化は著しいです。脱プラスチックやペーパーレスといった言葉を耳にする状況でも弊社は成長し続け、雇用の維持・拡大を目指します。長年製造で培ってきた技術と経験を最大限に活用し、価値ある製品づくりを続け、積極的な設備投資や社員の待遇改善を目指して行動して参ります。環境問題にも前向きに取り組み、持続可能な社会を実現するべく持続可能な会社となることを目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の売上高100億円達成に向け、年率15%程度の成長を目指す。

課題

- 生産システム再設計による安全性・品質・生産性の向上
- 上記に伴う生産設備の増強・人員の確保（※含技術伝承）
- 高付加価値商品の開発
- 新規販売チャンネルの開拓を含めた営業力の強化
- M&A方針の明確化及びPMI体制の構築（外部専門家活用）

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 福島工場の生産システムを再設計する。再設計により作業環境（安全性）・作業効率（生産性）の向上を図る。（発泡事業）
- 本社工場に大型の自動製袋機や最新鋭の全自動スリッター機を導入し省力化を図る。それにより競争力強化と生産性向上をともに実現する。創出される付加価値を原資として継続的な賃上げを実行し、地域経済およびサプライチェーン全体への波及効果の創出を目指す。（フィルム事業・サプライ事業）
- 外部専門家等を活用し買収方針を明確化、PMI体制を確立してM&Aを実施する。（全事業）

実施体制

- 世代・部門横断で構成される100億プロジェクトチームを結成する。
- プロジェクトメンバーで毎月会議を実施し、投資・採用・価格・開発戦略等の進捗状況の確認や課題の改善を行う。
- 当社の理念に共感し、ものづくりを通じて社会に価値を届けたいという志を持つ人材を中心に採用を進める。その実現に向けて、国籍を問わず多様な人材が活躍できる職場環境を整備する。
- 全社員に100億宣言の趣旨と目標を共有し、自らの業務と成長目標とのつながりを理解したうえで、部門の枠を越えて相互に連携し、現場からの改善と挑戦を起点に、全社一体となって目標達成に取り組む。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の売上高100億円達成に向け、年率15%程度の成長を目指す。

- フィルム事業・サプライ事業の両主力部門で生産能力と高付加価値比率を高め、売上を中核として拡大する。あわせて新製品・新用途による売上比率を約25%、新規販路による売上比率を約10%まで育成する。
- 多品種小ロット・短納期対応と、加工から検査までの一貫体制、ならびに顧客との共同開発による用途別最適提案力等の強みを磨き競合優位性を高めていく。
- 省力化投資による生産性向上と高付加価値製品比率の拡大、適正な価格転嫁により付加価値額を拡大し、賃上げ原資を安定的に確保する。
- 原材料・物流等における地域取引拡大と協力会社との共同改善、ならびに賃上げ・雇用拡大による地域経済への波及効果が見込まれる。

課題

- 生産システム再設計による安全性・品質・生産性の向上
→ 工程集約と動線最適化、検査工程の自動化により、作業負荷低減と不良率低下、リードタイム短縮を実現していく
- 上記に伴う生産設備の増強・人員の確保（※含技術伝承）
→ 自動製袋機・全自動スリッター機の増設と多能工化教育により、技能伝承と省力化を同時に進めていく
- 高付加価値商品の開発
→ 環境対応・高機能用途を中心に、既存顧客との共同開発による新製品比率の拡大を図っていく
- 新規販売チャンネルの開拓を含めた営業力の強化
→ 直販体制の強化と専門商社との連携により、新用途・新規顧客の開拓を加速していく
- M&A方針の明確化及びPMI体制の構築（外部専門家活用）
→ 周辺加工・関連資材分野を対象に、外部専門家と連携したPMI体制を構築し、早期の収益化と人材・技術の統合を進める

売上高

